

「メコン5カ国首脳歓迎昼食会」開催概要

2018年11月15日

日本商工会議所

1. 日時：2018年10月9日（火）12:00～13:30
2. 場所：ホテルニューオータニ ザ・メイン 宴会場階「芙蓉の間」
3. 主催：日本商工会議所、日本経済団体連合会
4. 出席者：約150名
5. 概要：

日本商工会議所と日本経済団体連合会は10月9日、第10回日本・メコン地域諸国首脳会議のために来日した、メコン各国首脳の歓迎昼食会を開催した。メコン地域から



左から小林日商日本メコン地域経済委員会委員長、フン・セン首相、トルトン首相、スー・チー国家最高顧問、プラユット首相、フック首相、古賀経団連審議委員会議長

ブン・セン・カンボジア王国首相、トルトン・シースリット・ラオス人民民主共和国首相、アウン・サン・スー・チー・ミャンマー連邦共和国国家最高顧問、プラユット・ジャン

オーチャー・タイ王国首相、グエン・スアン・フック・ベトナム社会主義共和国首相をはじめ約30名、日本側から約120名の計約150名が出席した。

主催者を代表し、古賀信行経団連審議委員会議長が歓迎挨拶を、小林洋一日本メコン地域経済委員会委員長が乾杯挨拶を述べた。古賀議長は、同日午前中に開催された日メコン首脳会議において採択された「東京戦略2018」に触れ、具体的な取組みの進展を期待し支援する意を伝えた。小林委員長は、去る8月の第10回日メコン経済大臣会合にて、経済界代表として要望した新たな「日メコン産業開発ビジョン2.0」の策定に関し、今次日メコン首脳会議において報告があった旨を述べ、日本経済界として今後もメコン各国の更なる発展に貢献する意を伝えた。

各国首脳の挨拶の概要は次のとおり。

(1) フン・セン首相（カンボジア王国）

カンボジアは、若く安価で質の高い労働力を保有することで、組立工場の立地として適している。また、政府は、経済政策を民間企業の動きに対応して策定している。例えば、商業の効率化を図り、ワンストップサービスを実施する計画や、インフラ整備への投資強化、シアヌークビル港の多目的ターミナルの開設、2019年からの段階的な電気料金引き下げと電力の安定供給、製造業の投資促進、投資法及び経済特区に関する法改正などを行っている。

(2) トルトン・シースリット首相（ラオス人民民主共和国）

ラオス政府にとり、国内外からの投資促進のための環境整備は、重要な政策であり、制度改正等を行っている。ラオス国内には10の経済特区がある。政府は日本からの投資を促進するために、日系中小企業専用特区を用意しており、日本の投資家から注目されている。ラオスと日本の「戦略的パートナーシップ」促進のため、両国の友好・協力関係をさらに高めるべく、本日出席の皆様が、ラオスへ投資・事業展開することを期待する。

(3) アウン・サン・スー・チー国家最高顧問（ミャンマー連邦共和国）

「ミャンマー持続可能な開発プラン（MSDP※1）」の目指すところは、国連のSDGsのそれと一致し、私たちの必要性和適合する。私たちはMSDPの達成がミャンマーの経済成長に結びつくと思っている。国外からの投資を容易にするべく、MSDPに関し、プロジェクトバンクを開設し、投資家とミャンマー側のニーズを引合わせている。また、人材を重視しており、ミャンマーの若者の起業家の活躍に期待している。日系企業は、行動が迅速な彼らとの事業展開に満足すると思う。ミャンマーに投資を希望する企業の事業展開をより容易にするため、ミャンマー投資委員会では、手続き迅速化のための法改正、ワンストップサービスの提供、保険事業の外資への解禁等を行っている。また、私たちは日本の中小企業の投資を歓迎する。日本の中小企業も海外での展開が必要と考えており、両国の必要性が合致しており両者にメリットがあると思う。

(4) プラユット・ジャンオーチャー首相（タイ王国）

日本がメコン各国への投資促進に重要な役割を果たし、メコン地域の経済的成長及び持続的な開発に貢献し、仕事の場を創造し、収入を与え、国民生活の向上につながったことを感謝する。タイはタイランド+1という形態で日本を支援する。タイをアセアンやメコン地域への投資への基盤としてもらい、日本企業のグローバルチェーンの強化を支援する。今朝、日本とメコン地域の首脳が、「東京戦略 2018」を採択したことを歓迎する。日本の経済界の方がこのプランに基づきメコンでのビジネスを実行することを望む。日本の政府、金融、民間機関がパートナーとしてメコン諸国自身の経済協力枠組みであるエーヤワディ・チャオプラヤ・メコン経済協力戦略会議（ACMECS※2）の進展及びこのマスタープランに基づく各種プロジェクト実行の資金とするためのアクメクス基金設立に参加されることを望む。持続可能な開発及びメコン地域の開発のために、日本がタイの発展のために尽力したことを感謝する。そしてこの2国の関係がより強くなっていくことを望んでいる。

(5) グエン・スアン・フック首相（ベトナム社会主義共和国）

ベトナムには多くの日本の大企業とそのグループ会社が進出しており、ベトナムの輸出貿易の分野においても大いに貢献している。FDIにおいて90億USDを達成し、2018年はおそらく80億USDを達成すると思われる。2018年のGDP成長率はおそらく6.7%を達成し、今後も更なる成長を望む。日本からの観光客も多い。私たちは引き続き法整備に努力しており、投資や経営環境の改善に努めている。日本との経済協力関係向上のため、CPTPP協定の早期発効を望む。引き続き日本企業のベトナム進出を歓迎しており、インフラ整備、農業、銀行、人材育成、ハイテクの分野への投資に期待する。また、日本には、航空や保険などのベトナム国営企業の民営化に協力してほしい。引き続き長期にわたる安定的な投資をお願いしたい。ベトナム政府も政治の安定や、経営投資環境の改善などを継続し、支援したい。

以上

※1 Myanmar Sustainable Development Plan

※2 Ayeyawady-Chao Phraya-Mekong Economic Cooperation Strategy